

## 平成30年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	マルチスケール界面分子科学による革新的機能材料の創成
研究代表者	相田 卓三 (東京大学・大学院工学系研究科・教授) ※平成30年7月末現在
研究期間	平成30年度～平成34年度
コメント	<p>本研究は、表面・界面の特異性に着目し、その特性・構造情報が様々な分子組織体の階層構造、物性、機能特性にどのように影響するかを明らかにするものである。</p> <p>今回提案された研究内容は極めて独創性が高く、超分子化学領域に界面分子科学という新たな分野が生まれ、発展し、革新的機能材料を創出する可能性がある。このように、本研究は、新しい分野を開拓する、日本が世界に誇れる先駆的な研究である。</p> <p>また、研究計画は超分子化学に関する応募者のこれまでの先駆的な研究活動に裏付けられており、大きな研究成果が期待できる。</p>